



日本旧石器人研究の発展：沖縄の現場から

総合討論：日本人の祖先の姿を人類の進化と多様性から考える

沖縄県には旧石器時代の人類遺跡が多く、めざましい発見が続いています。日本人の祖先と考えられるこれら旧石器人についての最先端の研究をわかりやすく紹介し、広く人類史という観点で日本人を見つめなおす機会を提供します。



主催：日本学術会議基礎生物統合生物学委員会自然人類学分科会

共催：日本人類学会、日本霊長類学会

日時：令和元年(2019年)7月28日(日)13:00～17:00

場所：日本学術会議講堂 地下鉄千代田線 乃木坂駅 渋谷寄り出口 左40メートル
〒106-0032 東京都港区六本木7丁目22-34 電話 03-3403-3793

登録・参加費：事前登録必要無し、先着順着席、参加費無料

配布資料：当日講演要旨配布(200部限定)

問い合わせ先：馬場悠男 baba@kahaku.go.jp

プログラム

- 趣旨説明 ……山極壽一(日本学術会議会長・京都大学総長)
- 幻の明石原人から実在の港川人へ ……馬場悠男(国立科学博物館)
- 港川人骨のミトコンドリアDNA全塩基配列からわかること
……水野文月(東邦大学)、五條堀淳(総合研究大学院大学)
- 沖縄本島サキタリ洞遺跡の調査 ……山崎真治(沖縄県立博物館・美術館)
- 石垣島白保竿根田原洞穴遺跡と南島の崖葬墓文化
……片桐千亜紀(沖縄県立埋蔵文化財センター)
- 白保4号人骨の分析と復元 ……河野礼子(慶應義塾大学)
- アジア人類史の舞台として沖縄に注目すべき5つの理由 ……海部陽介(国立科学博物館)
-
- 総合討論
司会 ……山極壽一(日本学術会議会長・京都大学総長)
コメンテータ ……諏訪元(東京大学総合研究博物館)、中務真人(京都大学)

